ROG MAXIMUS XII EXTREME

J16774 改訂版 V3 2020年5月

Copyright © 2020 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。購入者によるバックアップ目的の場合を除き、 ASUSTEK Computer Inc. (以下、ASUS)の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

以下に該当する場合は、製品保証サービスを受けることができません。

(1) 製品に対しASUSの書面により認定された以外の修理、改造、改変が行われた場合

(2) 製品のシリアル番号の確認ができない場合

本書は情報提供のみを目的としています。本書の情報の完全性および正確性については最善の努力が払わ れていますが、本書の内容は「現状のまま」で提供されるものであり、ASUSは明示または黙示を問わず、本 書においていかなる保証も行いません。ASUS、その提携会社、従業員、取締役、役員、代理店、ペンダー またはサプライヤーは、本製品の使用または使用不能から生じた付随的な損害(データの変化・消失、事 業利益の損失、事業の中断など)に対して、たとえASUSがその損害の可能性について知らされていた場合 も、一切責任を負いません。

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書では説明の便宜のためにそ の会社名、製品名などを記載する場合がありますが、それらの商標権の侵害を行う意思、目的はありませ ん。

Offer to Provide Source Code of Certain Software

This product contains copyrighted software that is licensed under the General Public License ("GPL"), under the Lesser General Public License Version ("LGPL") and/or other Free Open Source Software Licenses. Such software in this product is distributed without any warranty to the extent permitted by the applicable law. Copies of these licenses are included in this product.

Where the applicable license entitles you to the source code of such software and/or other additional data, you may obtain it for a period of three years after our last shipment of the product, either

(1) for free by downloading it from https://www.asus.com/support/

or

(2) for the cost of reproduction and shipment, which is dependent on the preferred carrier and the location where you want to have it shipped to, by sending a request to:

ASUSTeK Computer Inc.

Legal Compliance Dept. 1F., No. 15, Lide Rd., Beitou Dist., Taipei City 112

Taiwan

In your request please provide the name, model number and version, as stated in the About Box of the product for which you wish to obtain the corresponding source code and your contact details so that we can coordinate the terms and cost of shipment with you.

The source code will be distributed WITHOUT ANY WARRANTY and licensed under the same license as the corresponding binary/object code.

This offer is valid to anyone in receipt of this information.

ASUSTeK is eager to duly provide complete source code as required under various Free Open Source Software licenses. If however you encounter any problems in obtaining the full corresponding source code we would be much obliged if you give us a notification to the email address **gpl@asus.com**, stating the product and describing the problem (please DO NOT send large attachments such as source code archives, etc. to this email address).

もくじ

安全上の このマニ ROG M 共有帯 ³ パッケー 取り付け	のご注意. ニュアルに AXIMUS) 域幅 ージの内容 ナエ具とコ	ついて XII EXTREME 仕様一覧 F ンポーネント	vi vii viii
Chapt	er 1:	製品の概要	
1.1	マザーオ	ボードの概要	
1.2	マザーオ	ボードのレイアウト	
Chapt	er 2:	基本的な取り付け	
2.1	コンピュ	ューターを組み立てる	
	2.1.1	CPUを取り付ける	2-1
	2.1.2	CPUクーラーを取り付ける	2-3
	2.1.3	メモリーを取り付ける	2-5
	2.1.4	M.2 SSD を取り付ける	2-6
	2.1.5	ファンブラケットを取り付ける	2-8
	2.1.6	マザーボードを取り付ける	2-9
	2.1.7	電源を取り付ける	2-10
	2.1.8	SATA デバイスを取り付ける	2-11
	2.1.9	フロントI/Oを取り付ける	2-12
	2.1.10	拡張カードを取り付ける	2-13
	2.1.11	ROG DIMM.2 カードを取り付ける	2-16
	2.1.12	付属のアンテナを取り付ける	2-18
2.2	UEFI BI	OSを更新する	
2.3	バックハ	ペネルとオーディオ接続	
	2.3.1	バックパネルインターフェース	2-20
	2.3.2	オーディオ接続	2-22
2.4	システム	▲を起動する	
2.5	システム	₄の電源をオフにする	
Chapt	er 3:	BIOSERAID	
3.1	UEFIとは	t	
3.2	UEFI BIOS Utility		
3.3	EZ Update		
3.4	ASUS E	Z Flash 3 Utility	
3.5	ASUS C	rashFree BIOS 3	
3.6	RAID		

Chapter 4:	付録	
Q-Code表		A-1
特記事項		A-5
ASUSコンタクトイン	フォメーション	A-12

安全上のご注意 電気の取り扱い

- 本製品、周辺機器、ケーブルなどの取り付けや取り外しを行う際は、必ずコンピューターと周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。お客様の取り付け方法に問題があった場合の故障や破損に関して弊社は一切の責任を負いません。
- 電源延長コードや特殊なアダプターを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、
 回路のショート等の原因になる場合があります。
- ご使用の電源装置に電圧選択スイッチが付いている場合は、システムの損傷を防ぐために 電源装置の電圧選択スイッチがご利用の地域の電圧と合致しているかをご確認ください。
 ご利用になる地域の電圧が不明な場合は、各地域の電力会社にお問い合わせください。
- 電源装置が故障した場合はご自分で修理・分解をせず、各メーカーや販売店にご相談ください。
- ・ 光デジタルS/PDIFは、光デジタルコンポーネントで、クラス1レーザー製品に分類されています。(本機能の搭載・非搭載は製品仕様によって異なります)

注意:不可視レーザー光です。ビームを直接見たり触れたりしないでください。

操作上の注意

- 作業を行う前に、本パッケージに付属のマニュアル及び取り付ける部品のマニュアルを全て 熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源ケー ブルに損傷がないことを確認してください。
- 各コネクター及びスロット、ソケット、回路にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。電源回路のショート等の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- 本製品は安定した場所に設置してください。
- 本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。火災や感電、やけど、故障の原因となります。修理は弊社修理センターまたは販売代理店にご依頼ください。
- ・ 周辺温度0~40℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートPC等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

ASUSは各国の環境法等を満たし、またリサイクル従事者の作業の安全を図るよう、環境保護に 関する厳しい基準を設定しております。ASUSのリサイクルに対する姿勢は、多方面において環境 保護に大きく貢献しています。



本機は電気製品または電子装置であり、地域のゴミと一緒に捨てられません。また、本機の コンポーネントはリサイクル性を考慮した設計を採用しております。なお、廃棄の際は地域の 条例等の指示に従ってください。



本機に装着されているボタン型電池には水銀が含まれています。通常ゴミとして廃棄しないでください。

このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けやシステム構築の際に必要な情報が記してあります。

マニュアルの概要

本書は以下のChapter から構成されています。

- Chapter 1: 製品の概要
 マザーボードが搭載する機能及び各部位の説明。
- Chapter 2:基本的な取り付け コンピューターの組み立て方、バックI/Oインターフェースについての説明。
- Chapter 3: BIOSとRAID
 UEFI BIOS Utilityの機能とRAIDの詳細。

参考情報

1. ASUSオフィシャルサイト(http://www.asus.com/)

多言語に対応した弊社ウェブページで、製品のアップデート情報やサポート情報をご確認 いただけます。

2. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事 項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲 には含まれていません。

ドライバーとユーティリティのダウンロード

ASUSオフィシャルページから、最新のドライバーやユーティリティをダウンロードすることができます。

- 1. ASUSオフィシャルサイト (http://www.asus.com) にアクセスします。
- 2. お使いの製品のページに移動します。
- 3. [サポート] [ドライバーとツール] の順にクリックします。
- 4. お使いのOSを選択し、内容をよく読んでご利用になるドライバーやユーティリティをダウ ンロードします。

このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に 防止していただくために、守っていただきたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解 いただいた上で本文をお読みください。



注意:ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回 避するための方法を説明しています。



重要:作業を完了するために必要な指示や設定方法を記載しています。



メモ:製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。



- 本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。
- 本書は、本書作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されていま す。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている 機能および名称が異なる場合があります。また、本書の内容は、製品やサービスの仕様変 更などにより将来予告なく変更することがあります。本製品の最新情報については弊社 Webサイトをご覧ください。

	Intel® LGA1200 ソケット対応* 第10世代 Intel® Core™ プロセッサー Intel® Pentium® Gold / Celeron® プロセッサー
	14nm CPU サポート
対応CPU	Intel® Turbo Boost Max Technology 3.0 / Intel® Turbo Boost Technology 2.0 サポート**
	* 最新の対応状況については、弊社Webサイトをご確認ください。
	** CPUによって対応する機能は異なります。
搭載チップセット	Intel® Z490 チップセット
対応メモリー	DDR4 スロット×4:最大 128 GB / デュアルチャンネルサポート DDR4 4700+(O.C.) / 4600(O.C.) / 4500(O.C.) / 4400(O.C.) / 4266(O.C.) / 4133(O.C.) / 4000(O.C.) / 3866(O.C.) / 3733(O.C.) / 3600(O.C.) / 3466(O.C.) / 3400(O.C.) / 3333(O.C.) / 3200(O.C.) / 3000(O.C.) / 2933(O.C.) / 2800(O.C.) / 2666 / 2400 / 2133 MHz Non-ECC、Un-buffered DIMM 対応*
	Intel® Extreme Memory Profile (XMP) サポート
	OptiMem III 設計
	* CPUによって対応するメモリーの種類は異なります。
	*** 最新の対応状況については、弊社Webサイトをご確認ください。
	PCI Express 3.0 x16 スロット×2 (@x16、@x8/x8)*
	Intel® 2490 チップセット:
拡張スロット	PCI Express 3.0 x4 スロット×1**
	* PCI Exprss 3.0 x16 スロットとDIMM.2 スロットは帯域を共有しています。
	***PCI EXpress 3.0 x4 スロットとSAIA & GD/S ボート (SAIA6G_SO) ほーマックスイト ています。PCI Express 3.0 x4 スロットは工場は内時 [22 Mode] に設定されていま す。x4 Modeで使用するにはUEFI BIOS Utilityの設定が必要です。
고바죽CDU행호	NVIDIA® 2-way SLI™ Technology
	AMD CrossFireX [™] Technology (最大 3-way 構成)
	最大:M.2 Socket 3 スロット×4、SATA 6 Gb/s ポート×8
	プロセッサー:
	DIMM.2 スロット
	- M.2 Socket 3 スロット×2 (Key M、Type 2242/2260/2280/22110、PCle 3.0 x4 接続)*
	Intel® Z490 チップセット:
フレエー 25188-44 2	- M.2 Socket 3 スロット×1 (Key M、Type 2242/2260/2280、SATA/PCle 3.0 x4 接続)**
ストレーン依能	- M.2 Socket 3 スロット×1 (Key M、Type 2242/2260/2280、PCle 3.0 x4 接続)
	SATA 6 Gb/s ポート×8
	Intel® Rapid Storage Technology 対応 (RAID 0/1/5/10)
	Intel® Optane™ Memory 対応
	* DIMM.2 スロットは工場出荷時(無効]に設定されています。有効にするにはUEFI BIOS Utilityの設定が必要です。
	*** M.2 Socket 3 第1スロット(M.2_1)に M.2 SATA SSDを取り付けた場合、SATA 6Gb/s 第2ボート(SATA6G_2)は無効になります。
	Marvell [®] AQtion AQC107 Ethernet Controller × 1
イーサネット機能	Intel [®] Ethernet Controller 1225-V×1
	ASUS LANGuard

	Intel® Wi-Fi 6 AX201
	2x2 Wi-Fi 6 (802.11 a/b/g/n/ac/ax)サポート
	1024QAM / OFDMA / MU-MIMO 対応
無線データネットワーク	最大データレート: 2.4Gbps
	デュアルバンド (2.4GHz/5GHz)対応
	チャネル帯域幅: HT20 / HT40 / HT80 / HT160 サポート
	CNVi インターフェースサポート
	Bluetooth [®] 5.1
Bluetooth° 惯能	* 対応するバージョンやプロファイルはご使用のOSに準じます。
	リアUSB:合計12ポート
	USB 3.2 Gen 2x2 ポート×1 (USB Type-C®×1)
	USB 3.2 Gen 2 ポート×3 (Type-A×2、USB Type-C®×1)
	USB 3.2 Gen 1 ポート×6 (Type-A×6)
USB機能	USB 2.0 ポート×2 (Type-A×2)
	フロントUSB:最大10ポート
	USB 3.2 Gen 2 コネクター×2
	USB 3.2 Gen 1 ヘッダー×2
	USB 2.0 ヘッダー×2
	ROG SupremeFX S1220 - 7.1 チャンネル HDオーディオコーデック
	- ヘッドホン出力インピーダンス検出機能
	- ジャック検出、マルチストリーミング、フロントパネル・ジャックリタスキング
	- SN比: 120dBのステレオライン出力とSN比: 113dBのライン入力をサ ポート
	- 最高192kHz/32bitのハイレゾ音源の再生に対応*
	オーディオ機能
オーディオ機能	- SupremeFX Shielding Technology
	- ESS™ ES9023 DAC + RC4580 OP AMP
	- LEDイルミネーションオーディオポート
	- 光デジタルS/PDIF出力ポート(バックパネル)
	- 日本メーカー製オーディオ用コンデンサー採用
	- オーディオカバー
	* HD Audio規格の192kHz/32bitまでのデータストリーム、96kHz/32bitでの8チャン ネルサラウンドに対応。
	USB 3.2 Gen 2x2 ポート×1 (USB Type-C®×1)
	USB 3.2 Gen 2 ポート×3 (Type-A×2、USB Type-C®×1)
	USB 3.2 Gen 1 ポート×6 (Type-A×6)
	USB 2.0 ポート×2 (Type-A×2)
	無線通信用アンテナポート×2
バックパネル	Intel® I225-V イーサネットポート×1
1/9-/1-/	Marvell® AQC107 イーサネットポート×1
	オーディオポート×5
	光デジタル S/PDIF 出力ポート×1
	BIOS FlashBack™ボタン×1
	CMOS クリアボタン×1

	ファン/冷却:
	4ピン CPUファンヘッダー×1
	4ピン CPUオプションファンヘッダー×1
	4ピン ケースファンヘッダー×2
	4ピン ラジエーターファンヘッダー×8
	ウォーターポンプ+ヘッダー×2
	ウォーターブロックヘッダー×1
	2ピン水流INヘッダー×1
	2ピン水流OUTヘッダー×1
	3ピン水流量ヘッダー×1
	NODEヘッダー×1
	電源:
	24ピン メイン電源コネクター×1
	8ピン +12V 電源コネクター×2
	4ピン EZ PLUGコネクター×1
	ストレージ:
	M.2 Socket 3 スロット×2
	DIMM.2スロット×1
	- M.2 Socket 3 スロット×2
	SATA 6Gb/s ボート×8
基板上インターフェース	USB:
	USB 3.2 Gen 2 コネクター×2
	USB 3.2 Gen 1 ヘッダー×2
	USB 2.0 ヘッダー×2
	その他:
	第2世代アドレサブルヘッダー×2
	RGBヘッダー×2
	BIOS Switch ボタン×1
	FlexKeyボタン×1
	フロントパネルオーディオヘッダー×1
	LN2 Mode ジャンパー×1
	Probelt計測ポイント×8
	ReTryボタン×1
	RSVD スイッチ×2
	Safe Boot ボタン×1
	Slow Modeスイッチ×1
	スピーカーヘッダー×1
	電源ボタン×1
	10-1ピン システムパネルヘッダー×1
	温度センサーヘッダー×1
	Thunderbolt ヘッダー×1

特殊機能 ROG Extreme OC kit: - EZ PLUG - FlexKeyボタン - LN2 Mode - Probelt - ReTyボタン - Safe Bootボタン - 雪源ボタン - Slow Mode Extreme Engine Digi+: - 10K ブラックメタリックコンデンサー - Infineon TDA21490 Power Stage - MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: - Q-Code - Q-Conector - Q-ED - Q-Slot - Q-Slot - Q-Slot - Q-DIMM - Q-ED - Q-Slot - Q-Slot - マーンレ製/ 「ックブレート - Zチール製/ 「ックブレート - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン - ProCool II - ブレマウント//Oシールド - SafeSlot AURA Sync バッグブレート - ROG AURA Sync バッグブレー - ROG AURA Sync バッグブレー <t< th=""><th></th><th></th></t<>		
 - EZ PLUG - FlexKeyボタン - LN2 Mode - Probelt - ReTyボタン - Safe Bootボタン - 電源ボタン - Slow Mode Extreme Engine Digi+: - 10K ブラックメタリックコンデンサー - Infineon TDA21490 Power Stage - MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: - Q-Code - Q-Code - Q-Connector - Q-DIMM - Q-LED - Q-Slot サーマルンリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン - ProCool II - プレマウント//Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - ROG AURA Sync バックブレート 		ROG Extreme OC kit:
 FlexKeyボタン LN2 Mode Probelt ReTryボタン Safe Bootボタン 電源ボタン Slow Mode Extreme Engine Digi+: 10K ブラックメタリックコンデンサー Infineon TDA21490 Power Stage MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: -Q-Code Q-Connector Q-DIMM Q-LED Q-Slot サーマル/リリューション: -アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー スチール製バックブレート EIOS Flashback[™] ボタン CMOS クリアボタン ProCool II ブレマウント/Oシールド SafeSlot AURA Sync: ROG AURA Sync バックブレート 		- EZ PLUG
 - LN2 Mode - Probelt - ReTryボタン - Safe Bootボタン - 電源ボタン - Slow Mode Extreme Engine Digi+: - Iolk ブラックメタリックコンデンサー - Infineon TDA21490 Power Stage - MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: - Q-Code - Q-Code - Q-Connector - Q-LED - Q-Slot サーマルンリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックブレート EZ DIY: - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン - ProCool II - プレマウント/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックブレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		- FlexKeyボタン
・ Probelt ・ ReTryボタン ・ Safe Bootボタン ・ Safe Bootボタン ・ 電源ボタン ・ Slow Mode をttreme Engine Digi+: ・ Slow Mode をttreme Engine Digi+: ・ 10K ブラックメタリックコンデンサー ・ 10K ブラックメタリックコンデンサー ・ 10K ブラックスタリックコンデンサー ・ 0.4 COB ・ 2.4 CoB ・ 1.4 ・ 2.4 CoB ・ 1.4 ・ 2.4 ・ 1.4 ・ 2.4 ・ 2.4 ・ 1.4 ・ 2.4 ・ 1.4 ・ 2.4 ・ 1.4 ・ ・		- LN2 Mode
+ ReTryボタン - Safe Bootボタン - 電源ボタン - Slow Mode Extreme Engine Digi+: - 10K ブラックメタリックコンデンサー - Infineon TDA21490 Power Stage - MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: - Q-Code - Q-Connector - Q-Connector - Q-DIMM - Q-LED - Q-Slot サーマルソリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン - ProCool II - ブレマウント//Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2"		- Probelt
+ Safe Bootボタン - 電源ボタン - Slow Mode Extreme Engine Digi+: - 10K ブラックメタリックコンデンサー - Infineon TDA21490 Power Stage - MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: - Q-Code - Q-Connector - Q-ColMM - Q-LED - Q-Slot サーマルソリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン - ProCoolII - ブレマウント//Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2"		- ReTryボタン
特殊機能 ●電源ボタン Slow Mode Extreme Engine Digi+: • 10K ブラックメタリックコンデンサー • 1nfineon TDA21490 Power Stage • MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: • Q-Code • Q-Connector • Q-Connector • Q-DIMM • Q-LED • Q-Slot サーマルンリューション: • アルミニウム製M.2ヒートシンクカパー • スチール製バックプレート EZ DIY: • BIOS Flashback™ ボタン • CMOS クリアボタン • ProCool II • ブレマウント/Oシールド • SafeSlot AURA Sync: • ROG AURA Sync バックプレート • RGBヘッダー • 第2世代アドレサブルヘッダー EiveDash OLED 2"		- Safe Bootボタン
+ Słow Mode Extreme Engine Digi+: - 10K ブラックメタリックコンデンサー - 1 Infineon TDA21490 Power Stage - MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: - Q-Code - Q-Connector - Q-Connector - Q-DIMM - Q-LED - Q-Slot サーマルソリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカパー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン - ProCool II - ブレマウント/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー EiveDash OLED 2"		- 電源ボタン
特殊機能 Extreme Engine Digi+: - 10K ブラックメタリックコンデンサー - Infineon TDA21490 Power Stage - MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: - Q-Code - Q-Connector - Q-1ED - Q-Slot サーマルソリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback [™] ボタン - CMOS クリアボタン - アしマウントI/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBへッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー - Kura Sync: - ROB AURA Sync バックプレート		- Slow Mode
+ 10K ブラックメタリックコンデンサー - Infineon TDA21490 Power Stage - MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: - Q-Code - Q-Connector - Q-DIMM - Q-LED - Q-Slot サーマルンリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタシ - ProCool II - プレマウント//Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2"		Extreme Engine Digi+:
特殊機能 ・Infineon TDA21490 Power Stage ・MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: -Q-Code -Q-Connector -Q-DIMM -Q-LED -Q-Slot サーマルソリューション: -アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー -スチール製バックプレート EZ DIY: BIOS Flashback™ ボタン -CMOS クリアボタン -ProCool II -ブレマウントI/Oシールド -SafeSlot AURA Sync: -ROG AURA Sync バックプレート -RGBヘッダー -第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		- 10K ブラックメタリックコンデンサー
 ・MicroFine Alloy チョークコイル ASUS Q-Design: -Q-Code -Q-Connector -Q-LED -Q-Slot サーマルソリューション: -アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー -スチール製バックプレート EZ DIY: BIOS Flashback[™] ボタン -CMOS クリアボタン -ProCool II -プレマウント//Oシールド -SafeSlot AURA Sync: -ROG AURA Sync バックプレート -RGBヘッダー -第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		- Infineon TDA21490 Power Stage
特殊機能 ASUS Q-Design: -Q-Code -Q-Connector -Q-DIMM -Q-LED -Q-Slot サーマルソリューション: -アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー -スチール製バックプレート EZ DIY: BIOS Flashback™ ボタン -CMOS クリアボタン ProCool II -プレマウントI/Oシールド -SafeSlot AURA Sync: -ROG AURA Sync バックプレート -RGBヘッダー -第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		- MicroFine Alloy チョークコイル
+ Q-Code - Q-Connector - Q-DIMM - Q-LED - Q-Slot サーマルソリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン - アレマウント/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2"		ASUS Q-Design:
+Q-Connector -Q-DIMM -Q-LED -Q-Slot サーマルソリューション: -アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー -スチール製バックプレート EZ DIY: -BIOS Flashback™ ボタン -CMOS クリアボタン -ProCool II -プレマウントI/Oシールド -SafeSlot AURA Sync: -ROG AURA Sync バックプレート -RGBヘッダー -第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2"		- Q-Code
特殊機能 -Q-DIMM -Q-LED -Q-Slot サーマルソリューション: - -アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - -スチール製バックプレート EZ DIY: -BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン -CMOS クリアボタン - ProCool II -プレマウントI/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー - LiveDash OLED 2" -		- Q-Connector
- Q-LED - Q-Slot サーマルソリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback [™] ボタン - CMOS クリアボタン - CMOS クリアボタン - ProCool II - プレマウントI/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2"	特殊機能	- Q-DIMM
- Q-Slot サーマルソリューション: - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: - BIOS Flashback [™] ボタン - CMOS クリアボタン - CMOS クリアボタン - ProCool II - プレマウントI/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2"		- Q-LED
 サーマルソリューション: アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー スチール製バックプレート EZ DIY: BIOS Flashback[™] ボタン CMOS クリアボタン ProCool II プレマウントI/Oシールド SafeSlot AURA Sync: ROG AURA Sync バックプレート RGBヘッダー 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		- Q-Slot
 - アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー - スチール製バックプレート EZ DIY: BIOS Flashback[™] ボタン CMOS クリアボタン ProCool II - プレマウントI/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: ROG AURA Sync バックプレート RGBヘッダー 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		サーマルソリューション:
 スチール製バックプレート EZ DIY: BIOS Flashback[™] ボタン CMOS クリアボタン ProCool II プレマウントI/Oシールド SafeSlot AURA Sync: ROG AURA Sync バックプレート RGBヘッダー 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		- アルミニウム製M.2ヒートシンクカバー
EZ DIY: - BIOS Flashback™ ボタン - CMOS クリアボタン - ProCool II - プレマウントI/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2″		- スチール製バックプレート
 BIOS Flashback[™] ボタン CMOS クリアボタン ProCool II プレマウントI/Oシールド SafeSlot AURA Sync: ROG AURA Sync バックプレート RGBヘッダー 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		EZ DIY:
 - CMOS クリアボタン - ProCool II - プレマウントI/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		- BIOS Flashback™ ボタン
 ProCool II プレマウントI/Oシールド SafeSlot AURA Sync: ROG AURA Sync バックプレート RGBヘッダー 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2" 		- CMOS クリアボタン
- プレマウントI/Oシールド - SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2″		- ProCool II
- SafeSlot AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサプルヘッダー LiveDash OLED 2″		- プレマウントI/Oシールド
AURA Sync: - ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2″		- SafeSlot
- ROG AURA Sync バックプレート - RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2″		AURA Sync:
- RGBヘッダー - 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2″		- ROG AURA Sync バックプレート
- 第2世代アドレサブルヘッダー LiveDash OLED 2″		- RGBヘッダー
LiveDash OLED 2"		- 第2世代アドレサブルヘッダー
		LiveDash OLED 2"

	ROG独自ソフトワエバ:
	- Mem Tweaklt
	- RAMCache III
	- ROG CPU-Z
	- GameFirst VI
	- Sonic Studio III + Sonic Studio Virtual Mixer
	- Sonic Radar III
	- DTS [®] Sound Unbound
	- Overwolf
	- BullGuard® Internet Security (1年/海外言語版)
	ASUS独自ソフトウェア:
	Armoury Crate
	- Aura Creator
	- Aura Sync
	- OLED Display
	Al Suite 3
ソノトワエバ機能	- 5-Way Optimization with Al Overclocking
	TPU
	EPU
	Digi+ Power Control
	Fan Xpert 4
	Turbo app
	- EZ update
	Ai Charger
	WinRAR(体験版)
	UEFI BIOS
	Al Overclocking Guide
	EZ DIY:
	- ASUS CrashFree BIOS 3
	- ASUS EZ Flash 3
	- ASUS UEFI BIOS EZ Mode
	FlexKev
BIOS機能	256 Mb Flash ROM × 2, UEFI AMI BIOS
	WOI by PME, PXF
サポート05	Windows® 10 (64-bit)
	Fxtended-ATX フォー/、ファクター
フォームファクター	$30.5 \text{ cm} \times 27.7 \text{ cm} (127) \neq \times 10.9 \text{ AUV}$



製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変更する場合があります。

共有帯域幅



2000 200	10000		the set	100 100 00
RAD2C	FAN	W_PUMP+1	WOUT	W_PLO

		1	2	3	4
	PCIEX16_1	x16	x8	x8	x8
٨	PCIEX16_2	-	x8	-	x4
A	DIMM.2_1	-	-	x4	x4
	DIMM.2_2	-	-	x4	-
		1		2	2
	PCIEX4	x2		x4	
D	SATA6G_56	0			-
		1		2	1
C	M.2_1	SATA モード		PCle モード	
Ľ	SATA6G_2	_		()

Į

- DIMM.2 スロットは工場出荷時[無効]に設定されています。有効にするにはUEFI BIOS Utilityの設定が必要です。
- PCI Express 3.0 x4 スロットとSATA 6 Gb/s ポート (SATA6G_56) は帯域を共有しています。
- M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に M.2 SATA SSDを取り付けた場合、SATA 6Gb/s 第2 ポート (SATA6G_2) は無効になります。
- 共有帯域幅の動作は、UEFI BIOS Utility Onboard Devices Configuration で設定することができます。

パッケージの内容

製品パッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

マザーボード	ROG MAXIMUS XII EXTREME
ケーブル	アドレサブルストリップ延長ケーブル×1 RGB ストリップ 延長ケーブル ×1 ROG Weave SATA 6Gb/s ケーブル×8 3-in-1 サーミスタケーブルパック×1
追加冷却キット	ファンブラケット×1 ROGアシスタントファン (40mm) ×1
FAN Extension カード II	FAN Extension カード॥×1 電源ケーブル×1 NODE 接続ケーブル×1 ネジパック×1
ROG DIMM.2 カード	ROG DIMM.2 カード (ヒートシンク付) ×1 M.2 ゴムパッド×2 M.2 固定用ネジ・スペーサー (短) ×2
ThunderboltEX 3-TR カード	ThunderboltEX 3-TR カード×1 Mini DisplayPort ケーブル×2 ASUS Thunderbolt ヘッダーケーブル×1 USB 2.0 ヘッダーケーブル×1
その他	M.2 ゴムパッド×2 M.2 固定用ネジ・スペーサー(長)×2 Q-Connector×1 ROG ロゴプレートステッカー×1 ROG マルチビットドライバー×1 ROG ステッカー×1 2T2R デュアルバンド対応Wi-Fi/Bluetoothアンテナ×1
USBメモリー	ユーティリティ/ドライバー収録
ドキュメント	ユーザーマニュアル



万一、付属品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。

取り付け工具とコンポーネント





組み立てに必要な工具およびコンポーネントは、別途お客様ご自身でご用意ください。

製品の概要

1.1 マザーボードの概要

1.1.1 始める前に

パーツの取り付けや設定変更の際は、次の事項に注意してください。



本書に記載されている機能を使用するためには、別途パーツのご購入が必要な場合があります。



- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- IC部分には絶対に手を触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置くか、コンポーネントに付属 する袋に入れてください。
- パーツの取り付け、取り外しを行う前に、電源ユニットのスイッチをオフにし、電源ケーブルが電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、感電、故障の原因となります。



レイアウトの内容

名	称	ページ
1.	CPUソケット	1-4
2.	メモリースロット	1-5
3.	拡張スロット	1-7
4.	ファン/ポンプヘッダー	1-9
5.	ウォーターブロックヘッダー	1-10
6.	水冷システムヘッダー	1-10
7.	電源コネクター	1-11
8.	M.2 Socket 3 スロット	1-12
9.	DIMM.2 スロット	1-13
10.	SATA 6 Gb/s ポート	1-14
11.	USB 3.2 Gen 2 コネクター	1-15
12.	USB 3.2 Gen 1 ヘッダー	1-15
13.	USB 2.0 ヘッダー	1-16
14.	第2世代アドレサブルヘッダー	1-17
15.	RGB ヘッダー	1-18
16.	BIOS Switch ボタン	1-19
17.	FlexKeyボタン	1-19
18.	フロントパネルオーディオヘッダー	1-20
19.	LN2 Mode ジャンパー	1-20
20.	NODEヘッダー	1-21
21.	Probelt計測ポイント	1-22
22.	ReTry ボタン	1-23
23.	RSVD スイッチ	1-23
24.	Safe Boot ボタン	1-24
25.	Slow Mode スイッチ	1-24
26.	電源ボタン	1-25
27.	システムパネルヘッダー	1-26
28.	温度センサーヘッダー	1-27
29.	Thunderbolt ヘッダー	1-28
30.	Q-Code	1-29
31.	Q-LED	1-30
32.	BIOS LED	1-30
33.	ストレージデバイスアクティビティLED	1-31
34.	8ピン 電源プラグLED	1-31

1. **CPUソ**ケット

本製品は第10世代Intel® Core™プロセッサー、Intel® Pentium® Gold / Celeron® プロセッサーに 対応する、LGA1200 パッケージ用CPUソケットが搭載されています。



- 本製品はLGA1200タイプの第10世代Intel® Core™プロセッサー、Intel® Pentium® Gold / Celeron® プロセッサーのみをサポートしています。
- ・ CPUを取り付ける際は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。
- CPUを取り付けた後もCPUソケットキャップは大切に保管してください。CPUソケットキャップは、輸送時にソケット内のピンの保護として必要になります。CPUソケットキャップが無い状態で修理を依頼されますと、いかなる場合も保証の対象外となりますのでご注意下さい。
- 製品保証は、CPUの間違った取り付け・取り外しに起因する故障及び不具合には適用されません。

2. メモリースロット

本製品には、DDR4 メモリーに対応したメモリースロット (DIMMスロット) が4基搭載されています。



推奨メモリー構成



メモリー構成

本製品のメモリースロットには、4GB、8GB、16GB、32GBの DDR4 Non-ECC Unbuffered DIMMを取り付けることができます。



異なる容量のメモリーをマルチチャンネル構成で取り付けた場合、アクセス領域はメモリー容量の合計値が小さい方のチャンネルに合わせて割り当てられ、容量の大きなメモリーの超過分に関してはシングルチャンネル用に割り当てられます。



- メモリーの動作周波数はSerial Presence Detect (SPD) に依存しており、デフォルト設定では標準のSPD設定が優先されます。
- すべてのスロットにメモリーモジュールを取り付ける場合やオーバークロックを行う場合は、安定した動作のために適切な冷却システムをご使用ください。
- CPUの仕様電圧範囲以上の高い電圧を必要とするメモリーを取り付けるとCPUが損傷することがあります。CPUの仕様上の制限を超過しないメモリーをご使用ください。
- 同じCASレイテンシを持つメモリーを取り付けてください。またメモリーは同じベンダーの同じ製造週の製品を取り付けることをお勧めします。
- CPUによって対応するメモリーの種類は異なります。
- ・ 最新の対応状況については、弊社Webサイトをご確認ください。

3. 拡張スロット



拡張カードの追加や取り外しを行う際は、必ず電源をオフにし、電源ケーブルを抜いてから行 なってください。電源ケーブルを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボードコンポーネ ントの損傷の原因となります。



スロット No.	スロット説明
1	PCIEX4 (PCI Express 3.0 x4 スロット)
2	PCIEX16_1 (PCI Express 3.0 x16 スロット)
3	PCIEX16_2 (PCI Express 3.0 x 16 スロット) 最大 x8 動作

グラフィックスカード推奨構成

	スロット	シングル	2-way
2.	PCIEX16_1	x16	x8
3.	PCIEX16_2	-	x8

SLI™やCrossFireX™環境を構築する場合は、システム構成に見合った大容量の電源ユニットご用意ください。

 複数のグラフィックスカードを使用する場合は、安全性及び信頼性を確保するためケー スファンを設置することを推奨します。



- PCI Exprss 3.0 x16 スロットとDIMM.2 スロットは帯域を共有しています。
- PCI Express 3.0 x4 スロットとSATA 6 Gb/s ポート (SATA6G_56) は帯域を共有してい ます。PCI Express 3.0 x4 スロットは工場出荷時 [x2 Mode] に設定されています。x4 Modeで使用するにはUEFI BIOS Utilityの設定が必要です。

4. ファン/ポンプヘッダー

CPUファン、ケースファンなどの各種冷却ファンや水冷キットのポンプ、ラジエーターファンを接続します。





PCケース内に十分な空気の流れがないと、マザーボードやコンポーネントが損傷する恐れが あります。組み立ての際には冷却ファン(吸/排気ファン)を必ず搭載してください。

ケーブルは正しい向きでしっかりと奥まで挿入してください。



水冷キットを使用する場合は、W_PUMP+_1/2ヘッダーにポンプを、CPU_FAN/CPU_OPTヘッ ダーに冷却ファンを接続します。

ヘッダー	最大電流	最大出力	デフォルト設定	連動制御
CPU_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	А
CPU_OPT	1A	12W	Q-Fan コントロール	А
RAD1A_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	В
RAD1B_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	В
RAD1C_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	В
RAD1D_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	В
RAD2A_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	С
RAD2B_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	С
RAD2C_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	С
RAD2D_FAN	1A	12W	Q-Fan コントロール	С
CHA_FAN1	1A	12W	Q-Fan コントロール	-
CHA_FAN2	1A	12W	Q-Fan コントロール	-
W_PUMP+_1	3A	36W	フルスピード	_
W_PUMP+_2	3A	36W	フルスピード	-

5. ウォーターブロックヘッダー

互換性のあるサードパーティ製ウォーターブロックを接続することで、ウォーターブロック の温度、水流量、漏水信号をモニターすることができます。



6. 水冷システムヘッダー

水流IN/水流OUT ヘッダーに温度センサーを、水流量ヘッダーに流量センサーを接続する ことで、水冷システムの水温や流水量をモニタリングすることができます。



7. 電源コネクター

電源ユニット用コネクターです。電源ユニットのメインコネクターやCPU補助電源を接続 します。電源ケーブルとコネクターにはツメがあるので、お互いがかみ合う方向に正しく接 続してください。





8ピン+12V電源コネクターには、必ず8ピン電源コネクターを接続してください。



ATX12V version 2.4 またはそれ以降の規格に準拠した電源ユニットをご使用ください。

- EZ PLUGコネクターは、PCI Expressスロットのための追加電源コネクターです。EZ PLUG コネクターに4ピンペリフェラル電源ケーブルを接続することで、グラフィックスカード を複数枚取り付けた際にPCI Expressスロットからグラフィックスカードへの給電を安定 させることができます。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、またはシステムが起動できなくなる等の問題が発生する場合があります。

8. M.2 Socket 3 スロット

M.2 socket 3 (Key M) 規格のSSDを取り付けることができます。



S

M.2_1 スロット:

Key M、Type 2242/2260/2280、SATA/PCIe 3.0 x4 接続 * M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に M.2 SATA SSDを取り付けた場合、SATA 6Gb/s 第2ポート (SATA6G_2) は無効になります。

- M.2_2スロット: Key M、Type 2242/2260/2280、PCle 3.0 x4 接続
- ・ Intel® Rapid Storage Technology (Intel® RST) サポート。
- M.2 SSD の取り付けには、付属のM.2 固定用ネジ・スペーサー(長)をご使用ください。

Chapter 1

9. DIMM.2 スロット

付属のROG DIMM.2 カードを取り付けることで、最大2枚のM.2 PCIe SSDを使用することができます。



- 拡張カードの増設や取り外しを行なう際は、必ず電源をオフにし、電源ケーブルを抜い てから行なってください。電源ケーブルを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボー ドコンポーネントの損傷の原因となります。
- ROG DIMM.2 カードは取付方向が決まっています。取付方向を間違えないようにしてください。間違えて取り付けた場合、故障の原因となります。



ROG DIMM.2 カード (CPU接続)

- Key M、Type 2242 / 2260 / 2280 / 22110、 PCle 3.0 x4 接続
- ・ Intel® Rapid Storage Technology (Intel® RST) サポート。
- PCI Exprss 3.0 x16 スロットとDIMM.2 スロットは帯域を共有しています。DIMM.2 スロット は工場出荷時 [無効] に設定されています。有効にするにはUEFI BIOS Utilityの設定が必 要です。
- ・ M.2 SSD の取り付けには、付属のM.2 固定用ネジ・スペーサー (短) をご使用ください。

10. SATA 6Gb/s ポート

SATAストレージデバイスや光学ドライブを接続することができます。



Ø

SATAストレージドライブを取り付けることで、Intel® Rapid Storage Technology (Intel® RST) をサポートするチップセットによるRAID (0/1/5/10) を構築することができます。

- B
- SATA動作モードは工場出荷時 [AHCI]に設定されています。RAIDを構築する場合 は、UEFI BIOS Utilityで「SATA Mode Selection」を [Intel RST Premium With Intel Optane System Acceleration (RAID)] に設定してください。
- M.2 Socket 3 第1スロット (M.2_1) に M.2 SATA SSDを取り付けた場合、SATA 6Gb/s 第 2ポート (SATA6G_2) は無効になります。
- RAIDの設定については、RAID設定マニュアルをご覧ください。RAID設定マニュアルは 弊社Webサイトからダウンロードしてご覧いただけます。

11. USB 3.2 Gen 2 コネクター

Key-A タイプの USB 3.2 Gen 2 ポート増設用ブラケットやフロントパネルの USB 3.2 Gen 2 端子を接続することで、1つの USB Type-C[®] ポート または Type-A ポートを使用することができます。



12. USB 3.2 Gen 1 ヘッダー

USB 3.2 Gen 1 増設用ブラケットやフロントパネルの USB 3.2 Gen 1 端子を接続すること ができます。



13. USB 2.0 ヘッダー

USB 2.0 増設用ブラケットやフロントパネルのUSB 2.0 端子を接続することができます。





IEEE 1394用ケーブルをUSBコネクターに接続しないでください。マザーボードが損傷する原因となります。

14. 第2世代アドレサブルヘッダー

マイクロコントローラーを内蔵するアドレス可能なWS2811 LEDドライバーIC搭載のRGB LED WS2812B ベースのLEDストリップを接続することができます。





アドレサブルヘッダーは、定格最大5V/3A (LED 最大 500 個まで)の RGB LED WS2812B ベースの LED ストリップに対応しています。



コンポーネントの取り付け・取り外しを行う際は、事前にATX電源がオフになっていること、 電源ケーブルが電源から取り外されていることを確認してください。マザーボード及び周辺機 器、コンポーネントの故障や不具合の原因となる恐れがあります。



・ 実際の点灯色や点灯方法は取り付けたLED ストリップの種類により異なります。

- ・ 点灯しない場合は、LEDストリップが本製品がサポートする仕様の範囲内であること、コネクターが正しい向きで接続されていることをご確認ください。
- ・ このヘッダーに接続されたLED ストリップは電源オン時のみ点灯します。

15. RGB ヘッダー

システムを色鮮やかに彩ることができるRGB LEDストリップ (LEDテープ) を接続することができます。





RGB ヘッダーは、電源電圧12VのSMD5050 RGB LED ストリップに対応しています。(定格最大 12V/3A)



コンポーネントの取り付け・取り外しを行う際は、事前にATX電源がオフになっていること、 電源ケーブルが電源から取り外されていることを確認してください。マザーボード及び周辺機 器、コンポーネントの故障や不具合の原因となる恐れがあります。



- ・ 実際の点灯色や点灯方法は取り付けたLED ストリップの種類により異なります。
- ・ 点灯しない場合は、LEDストリップが本製品がサポートする仕様の範囲内であること、コネクターが正しい向きで接続されていることをご確認ください。
- ・ このヘッダーに接続されたLED ストリップは電源オン時のみ点灯します。

Chapter 1

16. BIOS Switch ボタン

本製品はBIOS ROMが2つ搭載されており、電源オフ (S5) 状態でこのBIOS Switch ボタン を押すことにより使用するBIOS ROMを切り替えることができます。





選択されているBIOS ROMはBIOS_LEDの点灯で確認することができます。

17. FlexKeyボタン

FlexKey ボタンは、任意の機能を割り当てることができるユーザーライクな機能です。ボタンには、リセット、AURA オン/オフ、DirectKey、Safe Bootなどの機能を割り当てることができます。





FlexKeyボタンは工場出荷時 [リセット] ボタンに設定されています。機能の割り当てはUEFI BIOS Utilityで設定することができます。

18. フロントパネルオーディオヘッダー

PCケースなどに付属するフロントパネルオーディオモジュールを接続することができます。





本製品を最高のオーディオパフォーマンスでご使用いただくために、HDオーディオモジュー ルを使用することをおすすめします。

19. LN2 Mode ジャンパー

LN2 Modeを有効に設定することで、極冷などの低温環境下で発生しやすいコールドバグを改善し、起動の確率を高めることができます。


20. NODEヘッダー

FAN Extension カード IIや互換性のある電源ユニットなどを接続し制御することができます。



21. Probelt計測ポイント

Probelt はオーバークロッカー向けの非常に便利な機能で、マザーボード上に設置された 計測ポイントにテスターを当てることで各種動作電圧を簡単かつ正確に測定することが できます。



Probelt を使用する

テスターのリード棒 (-:黒) をProbelt計測ポイントの GND (グランド) に当て、もう一方のリード棒 (+:赤) を測定したいアイテムのProbelt計測ポイントに当てます。



22. ReTry ボタン

極度のオーバークロックや液体窒素などを用いた極冷環境ではリセットボタンでのシステム再起動や強制終了ができない場面に遭遇することがあります。通常このような問題が発生した場合は電源ユニットの電源ケーブルを抜くなどして電力供給を遮断してシステムを停止させなければなりません。ReTry ボタンはこの煩わしい作業からあなたを開放します。ReTry ボタンを押すことによりUEFI BIOSの設定を保持したままシステムを強制的に再起動することができます。



23. RSVD スイッチ

このスイッチはASUS認定技術者用です。通常、このスイッチは [Disabled] (無効) に設定します。





RSVD スイッチはを [Disabled] に設定してください。[Enabled] にすると、システムにダメージを与える恐れがあります。

24. Safe Boot ボタン

Safe Boot ボタンを押すことで、UEFI BIOSをセーフモードで起動させることができます。 一時的に安全な設定をUEFI BIOSに適用してシステムを起動させることができ、CMOSク リアなどでUEFI BIOSの設定を初期化することなく起動失敗の原因となっている設定を調 整することが可能です。



25. Slow Mode スイッチ

Slow Mode スイッチは、液体窒素(LN2)などの極冷環境でのベンチマーク時に使用する機能です。プロセッサーによっては高い周波数で動作することのできる温度範囲が非常に狭く、高い周波数で安定した動作を得るには緻密な温度管理が必要です。このSlow Mode スイッチを有効にすることで、プロセッサーの動作倍率を一時的に最低倍率まで下げて負荷を低減させることで、プロセッサーの発熱量を抑え時間を掛けて調整することが可能になります。また、Slow Mode スイッチを無効にすることによってCPUは設定された周波数に引き上げられます。Slow Mode スイッチを使用することによって、オーバークロック設定を行なった低温状態のシステムを起動する際に周波数と温度の同期がより簡単に行え、システムクラッシュの確率を大幅に下げることができます。



26. 電源ボタン

本製品には電源ボタンが搭載されており、別途電源ボタンを接続することなくシステムの 電源をオンにすることができます。





電源ボタンはシステムに電力が供給されている場合に点灯します。拡張カードなどの取り付けや取り外しを行なう際は、電源ケーブルを抜くなどして電源ボタンが消灯した事を確認してから行なってください。

27. システムパネルヘッダー

PCケースのボタンやLEDケーブル、ビープスピーカーなどを取り付けることができます。



システム電源LEDヘッダー (PLED)

システム電源LED用2ピンヘッダーです。PCケースなどの電源LEDケーブルを接続します。このLEDはシステムの電源をオンにすると点灯し、システムがスリープ状態に入ると点滅します。

• ストレージデバイスアクティビティLEDヘッダー (HDLED)

ストレージデバイスアクティビティLED用2ピンヘッダーです。マザーボードに接続しているストレージデバイスがデータの読み書きを行なっている状態の時に点灯または点滅します。

スピーカーヘッダー (SPEAKER)

システム警告スピーカー用4ピンヘッダーです。スピーカーはその鳴り方でシステムの不具 合を報告し、警告を発します。

• 電源ボタン/ソフトオフボタンヘッダー (PWRBTN)

システムの電源ボタン用2ピンヘッダーです。電源ボタンを押すとシステムの電源がオンに なります。OSが起動している状態で、電源ボタンを押してから4秒以内に離すと、システム はOSの設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源ボ タンを4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にオフになります。

リセットボタンヘッダー (RESET)

リセットボタン用2ピンヘッダーです。リセットボタンを押すとシステムは強制的に再起動 が実行されます。保存されていない作業中のデータは削除されてしまいます。

28. 温度センサーヘッダー

サーミスタケーブルを接続することで、任意の場所やデバイスの温度をモニターすることができます。



29. Thunderbolt ヘッダー

ASUS ThunderboltEX 拡張カードを接続する際に使用します。ASUS ThunderboltEX 拡張カードでは、デイジーチェーン接続により1つのポートで最大6台のThunderbolt™デバイスと3台のネイティブDisplayPort対応ディスプレイを接続することができます。



30. Q-Code

Q-Codeは7セグメントLEDディスプレイによってPOSTコードを表示しシステムの起動状態 を通知します。コードの詳細については、本書に記載のQ-Code 表をご参照ください。





システム起動エラー発生時、Q-Codeにはトラブルシューティングのために、可能性が高い POSTエラーコードが表示されます。なお、POSTエラーコードは代表的な原因をもとに表示されており、実際のエラー原因とは異なる場合があります。

31. Q-LED

システムは起動時にPOST (Power-on Self Test) と呼ばれる動作チェックを実行します。 Q-LEDは重要なコンポーネント (CPU、メモリー、グラフィックスカード、起動デバイス) を POST時にチェックし、エラーが検出されると該当箇所のLEDを点灯させ問題箇所を通知 します。LEDが点灯している場合、システムは正常に動作することができません。Q-LED は、素早く問題箇所を発見することができる非常に便利な機能です。





Q-LEDはシステムの起動問題が発生している個所の特定を補助するためのものであり、あらゆる状況での問題を正確に特定するものではございません。あくまでも目安としてご利用ください。

32. BIOS LED

BIOS LEDはアクティブ状態のBIOS ROMを示します。電源オフ (S5) 状態でBIOS Switchボ タンを押すことによりアクティブなBIOS ROMが切り替わり、選択されたBIOS ROMのLED が点灯します。



33. ストレージデバイスアクティビティLED

ストレージデバイスアクティビティLEDはハードディスクやSSDなどのストレージデバイスの動作状態を示し、データの書き込み/読み込み中に点滅します。マザーボードにストレージデバイスが接続されていない、またはストレージデバイスが正常に動作していない場合、LEDは点灯しません。



34. 8ピン 電源プラグLED

CPU用補助電源のための8ピン +12V 電源コネクターの接続状態を検出し通知します。 コネクターに電源プラグが正しく取り付けられていない場合、このLEDが点灯し警告を発 します。



基本的な取り付け



2.1 コンピューターを組み立てる



本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際とは異なる場合があります。マザー ボードのレイアウトはモデルにより異なりますが、取り付け方法は同じです。

2.1.1 CPUを取り付ける



- 本製品はLGA1200タイプの第10世代Intel® Core™プロセッサー、Intel® Pentium® Gold / Celeron® プロセッサーのみをサポートしています。
- CPUの取り付けを行なう際は、正しい手順で行なってください。製品保証は、CPUの間違った取り付け・取り外しに起因する故障及び不具合には適用されません。















CPUクーラーを取り付ける前に、必ずCPU にサーマルグリスを塗布してください。CPU クーラーには、サーマルグリスや熱伝導体 シートなどが購入時から塗付されているモ デルもあります。

手順







取付け方や使用方法は各製品に付属の取扱説明書に従ってください。





2.1.3 メモリーを取り付ける







メモリーを取り外す







- 取り付ける M.2 SSD が 部品を片面のみに搭載 する片面実装タイプの 場合は、付属のゴムパッ ドを貼り付けてからご 使用ください。
 - 取り付ける M.2 SSD が 部品を両面に搭載する 両面実装タイプの場合 は、付属のゴムパッドを 貼り付けないようご注意 ください。







M.2 SSD は必ず付属の M.2 固定用ネジで固定してください。 オンボードスロットにM.2 SSD を取り付ける際は、 付属のM.2 固定用ネジ・スペーサー(長) をご使用ください。

サーマルパッド保護フィルムの剥がし忘れが無いようにご注意ください。



Chapter 2



 オーバークロックなどによる高負荷環境で使用される場合は、付属のファンブラケット に冷却ファンを取り付けて使用されることをおすすめします。

取り付ける際は、CPUクーラーや水冷システムとの物理干渉にご注意ください。



本製品に付属のファンとネジをご使用ください。

2.1.6 マザーボードを取り付ける

1. マザーボードフォームファクターに合わせPCケースにスペーサーを取り付けます。次 に、PCケースとマザーボードのバックパネルの位置を合わせるように置きます。



2. 下図を参考に、取り付けるネジをすべて仮止めし、対角線上に少しずつ締めていきます。





ネジはきつく締めすぎないように注意してください。







8ピン+12V電源コネクターには、必ず8ピン電源コネクターを接続してください。



2.1.9 フロントI/Oを取り付ける

Q-Connector (システムパネルヘッダー) USB 3.2 Gen 2 コネクター





コネクターは接続できる向きが決まってい ます。端子形状を確認し、まっずぐ奥まで 差し込んでください。

USB 3.2 Gen 1 ヘッダー



USB 2.0 ヘッダー



フロントパネルオーディオヘッダー



スピーカーヘッダー



2.1.10 拡張カードを取り付ける

PCI Express x16 カード



PCI Express x4カード



FAN Extension カード II

1







2



取付け方や使用方法は各製品に付属の取扱説明書に従ってください。

ThunderboltEX 3-TR カード





ThunderboltEX 3-TR カードは、チップセットが制御するPCI Expressスロットに取り付けることをお勧めします。

取付け方や使用方法は各製品に付属の取扱説明書に従ってください。

- ステップ6「6ピン PCI Express電源コネクターの接続」は、USB Type-C[®] ポートを使用して5V以上の急速充電を行う場合に接続してください。
- 6ピン PCI Express 電源コネクターが接続されている場合にのみ、USB Type-C[®]ポートのTypeC_1ポートは最大20V、TypeC_2ポートは最大9Vのデバイスをサポートします。







- 拡張カードの取り付け/取り外しを行なう際は、必ず電源をオフにし、電源ケーブルを抜 いてから行なってください。電源ケーブルを接続したまま作業をすると、負傷やマザーボ ードコンポーネントの損傷の原因となります。
- ROG DIMM.2 カードは取付方向が決まっています。取付方向を間違えないようにしてください。間違えて取り付けた場合、故障の原因となります。



- M.2 SSD は必ず付属の M.2 固定用ネジで固定してください。ROG DIMM.2 カードにM.2 SSD を取り付ける際は、付属のM.2 固定用ネジ・スペーサー(短)をご使用ください。
- Key M、Type 2242 / 2260 / 2280 / 22110、PCIe 3.0 x4 接続のM.2 SSDに対応。
- ROG DIMM.2カードのM.2 Socket 3 スロットは Intel® Rapid Storage Technology (Intel® RST) をサポートしています。
- DIMM.2 スロットは工場出荷時 [無効] に設定されています。有効にするにはUEFI BIOS Utilityの設定が必要です。
- 製品を最高のパフォーマンスでご使用いただくために、ROG DIMM.2 カードを使用する場合は、ヒートシンク搭載のM.2 SSD はヒートシンクを外してから取り付けることをおすすめいたします。ヒートシンクを外した場合、製品によっては保証期間内であっても保証規定内容が無効になる場合がございますので、ご注意ください。
- 取り付ける M.2 SSD が部品を片面のみに搭載する片面実装タイプの場合は、ROG DIMM.2 拡張カードに設置されているゴムパッドを付属の厚いゴムパッドに張り替えてか らご使用ください。

2.1.12 付属のアンテナを取り付ける

バックパネルの無線通信用アンテナポートに付属のアンテナを接続します。





- 使用中にアンテナが外れないよう、しっかりと取り付けてください。
- ・ アンテナは人体から20cm以上離れた場所に設置してください。
- 無線通信機能は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。販売国以外で使用する場合はご注意ください。

2.2 UEFI BIOSを更新する

BIOS FlashBack[™]

BIOS FlashBack™ はこれまでのBIOS更新ツールとはまったく違う、とても便利なUEFI BIOSの更 新手段です。UEFI BIOS UtilityやOSを起動することなく、簡単にUEFI BIOSを更新することがで きます。CPUやメモリーの取り付けは不要で、特定のUSBポートにBIOSイメージファイルを保存 したUSBメモリーを接続し、BIOS FlashBack™ ボタンを数秒間押すだけで、スタンバイ電源で自 動的にUEFI BIOSの更新を行なうことができます。

手順:

- ASUS オフィシャルサイトからBIOS イメージファイルをダウンロードし、ダウンロードした ファイルを展開します。
- 2. 展開によって出現したBIOS イメージファイルの名前を「M12E.CAP」に変更します。
- 3. BIOS イメージファイルをUSB メモリーのルートディレクトリにコピーします。
- 4. コンピューターをシャットダウンし、BIOSイメージファイルを入れたUSBメモリーをBIOS FlashBack[™] に対応するUSB ポートに接続します。
- 5. BIOS FlashBack[™] ボタンが点滅を始めるまで、BIOS FlashBack[™] ボタンを約3秒ほど長押 しします。



BIOS FlashBack™ ボタン BIOS FlashBack™ ポート

 BIOS FlashBack[™]が完了するとLEDは消灯します。LEDが完全に消灯したことを確認して システムを起動し、UEFI BIOS Utilityを確認します。



- 2.3 バックパネルとオーディオ接続
- 2.3.1 バックパネルインターフェース



バックパネルインターフェース			
1.	CMOSクリアボタン		
2.	USB 2.0 ポート		
3.	USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート		
4.	Marvell® AQC107 イーサネットポート*		
5.	Intel® I225-V イーサネットポート		
6.	BIOS FlashBack™ ボタン		
7.	USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート		
8.	USB 3.2 Gen 2 Type-A ポート		
9.	USB 3.2 Gen 2 USB Type-C® ポート		
10.	USB 3.2 Gen 2 Type-A ポート		
11.	USB 3.2 Gen 2x2 USB Type-C® ポート		
12.	無線通信用アンテナポート		
13.	光デジタルS/PDIF 出力ポート		
14.	オーディオポート**		

*/**:LEDの点灯内容、及びオーディオポートの構成は次のページでご確認ください。

* Marvell® AQC107 イーサネットポート - LEDインジケーター

アクティブリンク LED		スピード LED	
状態	説明	状態	説明
消灯	未接続	消灯	未接続
グリーン (点灯)	リンク確立	グリーン	10 Gbps
グリーン (点滅)	データ送受信中	オレンジ	5 Gbps/ 2.5 Gbps/ 1Gbps/ 100 Mbps



** オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2チャンネル	4チャンネル	5.1チャンネル	7.1チャンネル
ライトブルー	ライン入力	ライン入力	ライン入力	サイドスピーカー出力
ライム	ライン出力	フロント スピーカー出力	フロント スピーカー出力	フロント スピーカー出力
レッド	マイク入力	マイク入力	マイク入力	マイク入力
オレンジ	-	-	センター/ サブウーファ	センター/ サブウーファ
ホワイト	-	リア スピーカー出力	リア スピーカー出力	リア スピーカー出力

2.3.2 オーディオ接続

オーディオポート



ヘッドホンとマイクを接続



ステレオスピーカーに接続



2 チャンネルスピーカーに接続



Chapter 2: 基本的な取り付け

4 チャンネルスピーカーに接続



5.1 チャンネルスピーカーに接続



7.1 チャンネルスピーカーに接続



2.4 システムを起動する

- 1. すべてのコンポーネントやデバイスの取り付けが完了したら、PCケースのカバーを取り付けます。
- 2. すべてのスイッチがオフになっていることを確認します。
- 3. 電源ケーブルをPCケース背面の電源ユニットのコネクターに接続します。
- 4. 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- 5. 以下の順番でデバイスの電源をオンにします。
 - a. モニター/ディスプレイ
 - b. 外部デバイス類 (デイジーチェーンの最後のデバイスから)
 - c. システム電源
- 電源ユニットにスイッチがある場合はスイッチをオン状態にします。次にPCケースの電源 ボタンを押してシステムの電源をオンにします。正常に電源がオンになるとシステム電源 LEDが点灯します。また、ディスプレイがスタンバイ状態の場合、システムの電源をオンに するとディスプレイは自動的にスタンバイ状態から復帰します。

次に、システムはPOST(Power On Self Test) と呼ばれる起動時の自己診断テストを実行します。このPOST時に問題が確認された場合はBIOSによりビープ音が発せられるか、ディスプレイ画面上にエラーメッセージが表示されます。

システムの電源をオンにしてから30秒以上経過してもディスプレイ画面になにも表示され ない場合は、電源オンテストに失敗した可能性があります。ジャンパー設定や取り付けた デバイスの状態を確認し、問題が解決しない場合は各メーカーや販売店にご相談ください。次の表はビープ音が示すエラーの内容です。

UEFI BIOS ビープ	説明
短いビープ1回 (・)	グラフィックスカードの検出(正常起動) クイックブート設定が無効(正常起動) キーボード検出エラー
長いビープ1回+短いビープ2回 同じパターンで繰り返し (-・・)	メモリー検出エラー
長いビープ1回+短いビープ3回 (-・・・)	グラフィックスカード検出エラー
長いビープ1回+短いビープ4回 (-・・・・)	ハードウェアエラー

POST中にキーボードの<F2>または<Delete>を押すとUEFI BIOS Utilityを起動することができます。UEFI BIOS Utilityについて、詳細はChapter 3 をご参照ください。

2.5 システムの電源をオフにする

OSが起動している状態で、電源スイッチを押してから4秒以内に離すと、システムはOSの 設定に従いスリープモード、または休止状態、シャットダウンに移行します。電源スイッチ を4秒以上押すと、システムはOSの設定に関わらず強制的にオフになります。この機能 は、OSやシステムがハングアップ(ロック)して、通常のシステム終了作業が行えない場合 にのみご使用ください。強制終了は各コンポーネントに負担をかけます。万一の場合を除 き頻繁に強制終了をしないようご注意ください。
BIOS ERAID



UEFI BIOS UtilityとRAIDの設定方法について、詳しくは弊社Webサイトに掲載のマニュアルをご覧ください。

3.1 UEFIとは



ASUS UEFI BIOSは、従来のキーボード操作だけでなくマウスでの操作も可能となったグラフィカルでユーザーフレンドリーなインターフェースです。OSを使用するのと同じくらいに簡単に操作することができます。* EFI (UEFI) が従来のBIOSと同じ機能を持つことから、ASUSはEFI (UEFI)を「**UEFI BIOS**」、「**BIOS**」と表記します。

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) は、Intel 社が提唱している、従来パソコンのハ ードウェア制御を担ってきた BIOS に代わる、OS とファームウェアのインターフェース仕様で す。UEFIは非常に高機能な最新のファームウェアで従来のBIOSと違い拡張性に富んでいま す。UEFIの設定はマザーボードのCMOS RAM (CMOS) に保存されています。通常、UEFIのデフォ ルト設定はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以 下の状況以外では、デフォルト設定のままで使用することをお勧めします。

- システム起動中にエラーメッセージが表示され、UEFI BIOS Utility を起動するように指示が あった場合
- ・ UEFI BIOSの設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合



不適切な設定を行なうと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出ることがあります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者等のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

3.2 UEFI BIOS Utility

BIOS (Basic Input and Output System)とは、マザーボードに接続されたコンポーネント・デバイスを制御するシステムプログラムです。コンピューターの起動時に最初に起動するプログラムで、記憶装置の構成、オーバークロック設定、電源の管理、起動デバイス設定などのシステムハードウェアの設定をすることができます。

本製品にはBIOSに代わるUEFI (Unified Extensible Firmware Interface)が搭載されています。UEFI BIOS Utility では各種パラメーターの調整や各種機能の有効/無効、BIOSイメージの更新などを 行なうことができます。

コンピューターの起動時にUEFI BIOS Utilityを起動する

システムは起動時にPOST (Power On Self Test) と呼ばれる起動時の自己診断テストを実行 します。このPOST中に<F2>または<Delete>を押すことでUEFI BIOS Utility を起動すること ができます。



- マウスでUEFI BIOS Utilityの操作を行なう場合は、USBマウスをマザーボードに接続して からシステムの電源をオンにしてください。
- 設定を変更した後システムが不安定になる場合は、デフォルト設定をロードしてください。デフォルト設定に戻すには、<F5>を押すかExitメニューの「Load Optimized Defaults」を実行します。
- ・ 設定を変更した後システムが起動しなくなった場合は、CMOSクリアを実行しUEFI BIOS Utility設定をリセットしてください。
- ・ UEFI BIOS UtilityはBluetooth デバイスには対応しておりません。

メニュー画面

UEFI BIOS Utilityには、EZ Mode とAdvanced Mode の2つのモードがあります。モードの切り替えは<F7>を押すか、画面右下の「Advanced Mode(F7)」/「EZ Mode(F7)」ボタンを押すことで簡単に切り替えることができます。

3.3 EZ Update

EZ Updateは、Windows[®] 環境でUEFI BIOSの更新を行なうことができるユーティリティです。オンラインでUEFI BIOSや各種ユーティリティを更新することができます。



EZ Update を使用するには、インターネット接続が必要です。

3.4 ASUS EZ Flash 3 Utility

ASUS EZ Flash 3 Utility は、OSベースのユーティリティを起動することなくUEFI BIOSを短時間で 更新することができます。



安全性及び信頼性を確保するため、Load Optimized Defaults を実行しUEFI BIOSの設定を 初期設定値に戻してから更新を行なってください。

UEFI BIOSを更新する:



- 安全性及び信頼性を確保するため、FAT32/16ファイルシステムをもつシングルパーティションのUSBメモリーなどをご使用ください。
 - UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOS の更新に伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。
- 1. BIOSイメージファイルを保存したUSBメモリーをシステムにセットします。
- 2. UEFI BIOS UtilityのAdvanced Mode を起動し、Tool メニューから「ASUS EZ Flash 3 Utility」を起動します。
- 3. DriveフィールドでBIOSイメージファイルが保存されているUSBメモリーを選択し<Enter>を押します。
- 4. Folderフィールドで更新に使用するBIOSイメージファイルを選択し<Enter>を押します。
- 5. 読み込まれたBIOSメージファイルが正しいことを確認し、UEFI BIOSの更新を開始しま す。
- 6. UEFI BIOSの更新が完了したら、「OK」ボタンを押してシステムを再起動します。

3.5 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 はUEFI BIOSを復旧することができるツールです。更新時などに破損した UEFI BIOSをUSBメモリーを使用して復旧することができます。



本機能を使用する前にUSBメモリーに保存したBIOSメージファイルの名前を「M12E.CAP」 に変更してください。

UEFI BIOSを復旧する

手順

- 1. BIOSイメージファイルを保存したUSBメモリーをシステムにセットします。
- 2. システムの電源をオンにします。
- 3. USBメモリーのBIOSイメージファイルが検出されると、BIOSイメージファイルを読み込み 自動的にUEFI BIOSの復旧を開始します。
- 4. UEFI BIOSの復旧が完了したら、UEFI BIOS UtilityでLoad Optimized Defaults を実行して 設定を初期設定値に戻します。



UEFI BIOSの更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。UEFI BIOS が破損、損傷しシステムを起動することができなくなる恐れがあります。UEFI BIOSの更新に 伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。

3.6 RAID

本製品は、Intel® Rapid Storage TechnologyによるRAID (Redundant Array of Inexpensive Disks) レベル 0、1、5、10 をサポートしています。



RAIDの設定については、RAID設定マニュアルをご覧ください。 各言語のRAID設定マニュアルは弊社Webサイトからダウンロ ードしてご覧いただけます。



RAID定義

RAID 0 (データストライピング):

SATAストレージデバイスに対しパラレル方式でデータを読み/書きします。それぞれのSATAストレージデバイスの役割はシングルドライブと同じですが、転送率はアレイに参加している台数倍に上り、データへのアクセス速度を向上させます。セットアップには、最低2台のSATAストレージデバイス(同じモデル、同容量)が必要です。

RAID 1 (データミラーリング):

1台目のドライブから、2台目のドライブに、同じデータイメージをコピーし保存します。ドライブ が1台破損しても、ディスクアレイマネジメントソフトウェアが、アプリケーションを正常なドライ ブに移動することによって、完全なコピーとして残ります。システム全体のデータプロテクション とフォールト・トレランスを向上させます。セットアップには、最低2台の新しいSATAストレージ デバイス、または、既存のドライブと新しいドライブが必要です。既存のドライブを使う場合、新 しいドライブは既存のものと同じサイズかそれ以上である必要があります。

RAID 5 (パリティ付きストライピング):

3台以上のSATAストレージデバイス間のデータとパリティ情報をストライピングします。利点は、SATAストレージデバイスのパフォーマンスの向上、フォールト・トレランス、記憶容量の増加です。データのやり取り、相関的なデータベースのアプリケーション、企業内のリソース作成など、ビジネスにおけるシステムの構築に最適です。セットアップには最低3台の同じSATAストレージデバイスが必要です。

RAID 10 (ミラーリング + ストライピング):

データストライピングとデータミラーリングをパリティ(冗長データ)なしで結合したもの。RAID 0とRAID1構成のすべての利点が得られます。セットアップには、最低4台のSATAストレージデバイスが必要です。

付録

Q-Code表

コード	説明		
00	未使用		
01	電源投入タイプ検出 (ソフト/ハード) のリセット		
02	マイクロコードロード前の AP 初期化		
03	マイクロコードロード前のシステムエージェント 初期化		
04	マイクロコードロード前の PCH 初期化		
06	マイクロコードロード		
07	マイクロコードロード後の AP 初期化		
08	マイクロコードロード後のシステムエージェント初期化		
09	マイクロコードロード後の PCH 初期化		
OB	キャッシュ初期化		
0C-0D	将来の AMI SEC エラーコードのために予約済み		
OE	マイクロコードが見つからない		
OF	マイクロコードがロードされていない		
10	PEI コア起動		
11 – 14	ブリメモリーCPU 初期化を開始		
15 – 18	フリメモリーシステムエージェント初期化の開始		
<u>19 – 1C</u>	プリメモリーPCH 初期化を開始		
2B – 2F	メモリー初期化		
30	ASL用に予約		
31	メモリー装着済み		
32 – 36	CPUポストメモリー初期化		
37 – 3A	ポストメモリーシステムエージェント初期化の開始		
<u>3B – 3E</u>	ポストメモリーPCH 初期化の開始		
_4F	DXE IPLを開始		
50 – 53	メモリーの初期化エラー		
54	無効なメモリーダイフまたは互換性のないメモリー速度		
54	木指定のメモリー初期化工フー		
55	メモリーか取り付けられていない		
50	無効な CPU タイプまたは速度		
5/			
50	LYU 日己診断か失敗したか、LYU キャッンユエフーの可能性		
59	CFU マインロコートが兄フがらないが、マインロコートの史新が大敗		
5C - 5F	将米の AMI エフーコートのにのに 予約済み		

Q-Code表

コード	説明			
EO	S3 再開が開始される (S3 再開 PPI が DXE IPL によって呼び出される)			
E1	S3 ブートスクリプト実行			
E2	ビデオ再投稿			
E3	OS S3 ウェークベクトルコール			
E4 – E7	将来のAMI進行状況コードのために予約済み			
E8	S3 再開が失敗			
E9	S3 再開 PPI が見つからない			
EA	S3 再開ブートスクリプトエラー			
EB	S3 OS ウェークエラー			
EC – EF	将来の AMI エラーコードのために予約済み			
F0	ファームウェアによって引き起こされた復旧状態(自動復旧)			
F1	ユーザーによって引き起こされた復旧状態 (強制復旧)			
F2	復旧プロセス開始			
F3	復旧ファームウェアイメージが見つかりました			
F4	復旧ファームウェアイメージがロードされる			
F5 – F7	将来の AMI 進行状況コードのために予約済み			
F8	復旧 PPI が使用不可			
F9	復旧カプセルが見つからない			
FA	無効な復旧カプセル			
FB – FF	将来の AMI エラーコードのために予約済み			
60	DXE コアが起動			
61	NVRAM の初期化			
62	PCH ランタイムサービスのインストール			
63 - 67	CPU DXE 初期化			
68	PCI ホストブリッジ初期化			
69	システムエージェントDXE 初期化開始			
6A	システムエージェントDXE SMM 初期化開始			
6B – 6F	システムエージェントDXE 初期化 (システムエージェント モジュール固有)			
70	PCH DXE 初期化開始			
71	PCH DXE SMM 初期化開始			
72	PCH デバイス初期化			
73 - 77	PCH DXE 初期化 (PCH モジュール用)			
78	ACPI モジュール初期化			
79	CSM 初期化			
7A – 7F	将来の AMI DXE コードのために予約済み			

Q-Code表

コード	説明			
90	ブートデバイス選択 (BDS) フェーズが開始			
91	ドライバー接続開始			
92	PCIバス初期化開始			
93	PCI バスホットプラグコントローラー初期化			
94	PCIバス列挙型			
95	PCIバスリクエストリソース			
96	PCIバス割当リソース			
97	コンソール出力デバイス接続			
98	コンソール入力デバイス接続			
99	スーパーIO 初期化			
9A	USB 初期化開始			
9B	USB リセット			
9C	USB 検出			
9D	USB 有効			
9E – 9F	将来の AMI コードのために予約済み将来の AMI コードのために予約済み			
A0	IDE 初期化開始			
A1	IDE リセット			
A2	IDE 検出			
A3	IDE 有効			
A4	SCSI 初期化開始			
A5	SCSIリセット			
A6	SCSI 検出			
A7	SCSI有効			
A8	確認パスワードのセットアップ			
A9	セットアップの開始			
AA	ASL用に予約済み			
AB	セットアップ入力待機			
AC	ASL用に予約 (ACPI/ASL ステータスコードをご参照ください)			
AD	ブート可能イベント			
AE	レガシーブートイベント			
AF	ブートサービス終了イベント			
BO	ランタイム設定仮想アドレス MAP 開始			
B1	ランタイム設定仮想アドレス MAP 終了			
B2	レガシーオブション ROM の初期化			
B3	システムのリセット			

付 録

Q-Code表

⊐ − ド	説明
B4	USB ホットプラグ
B5	PCIバスホットプラグ
B6	NVRAM のクリーンアップ
B7	構成リセット (NVRAM 設定のリセット)
B8– BF	将来の AMI コードのために予約済み
D0	CPU 初期化 エラー
D1	システムエージェント 初期化 エラー
D2	PCH 初期化 エラー
D3	一部のアーキテクチャープロトコルが使用不可
D4	PCI リソース割り当てエラー リソース不足
D5	レガシーオプション ROM の容量なし
D6	コンソール出力デバイスが見つからない
D7	コンソール入力デバイスが見つからない
D8	無効なパスワード
D9	ブートオプションのロードエラー (LoadImage がエラーを返した)
DA	ブートオプション失敗 (StartImage がエラーを返した)
DB	フラッシュ更新失敗
DC	リセットプロトコルが使用不可

ACPI/ASL チェックポイント (OS環境下)

ステータ スコード	説明
03	システムは S3 スリープ状態に入っています。
04	システムは S4 スリープ状態に入っています。
05	システムは S5 スリープ状態に入っています。
30	システムは S3 スリープ状態からウェイクアップしています。
40	システムは S4 スリープ状態からウェイクアップしています。
AC	システムは ACPI モードになりました。 割り込みコントローラーは PIC モードです。
AA	システムは ACPI モードになりました。 割り込みコントローラーは APIC モードで す。

特記事項

FCC Compliance Information

Responsible Party: Asus Computer International Address: 48720 Kato Rd., Fremont, CA 94538, USA Phone / Fax No: (510)739-3777 / (510)608-4555

Identification of the assembled product: INTEL® WI-FI 6 AX201

Identification of the modular components used in the assembly:

Model Name: INTEL® WI-FI 6 AX201 FCC ID: PD9AX201NG

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF exposure warning

This equipment must be installed and operated in accordance with provided instructions and the antenna(s) used for this transmitter must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons and must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter. End-users and installers must be provide with antenna installation instructions and transmitter operating conditions for satisfying RF exposure compliance.

Compliance Statement of Innovation, Science and Economic Development Canada (ISED)

This device complies with Innovation, Science and Economic Development Canada licence exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Operation in the band 5150–5250 MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

Déclaration de conformité de Innovation, Sciences et Développement économique Canada (ISED)

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

La bande 5150–5250 MHz est réservée uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

VCCI: Japan Compliance Statement

Class B ITE

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目 的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、 受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

KC: Korea Warning Statement

B급 기기 (가정용 방송통신기자재) 이 기기는 가정용(B급) 전자과적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

*당해 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습 니다.

Google[™] License Terms

Copyright© 2020 Google Inc. All Rights Reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at:

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

NCC: Taiwan Wireless Statement

經型式認證合格之低功率射頻電機,非經許可,公司、商號或使用者均不得擅自變更頻 率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及 干擾合法通信;經發現有干擾現象時,應立即停用,並改善至無干擾時方得繼續使用。 前項合法通信,指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或 工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

應避免影響附近雷達系統之操作。

Japan RF Equipment Statement

屋外での使用について

本製品は、5GHz帯域での通信に対応しています。電波法の定めにより5.2GHz、5.3GHz帯域の電波は屋外で使用が禁じられています。

法律および規制遵守

本製品は電波法及びこれに基づく命令の定めるところに従い使用してください。日本国外では、 その国の法律または規制により、本製品の使用ができないことがあります。このような国では、本 製品を運用した結果、罰せられることがありますが、当社は一切責任を負いかねますのでご了承 ください。

Précautions d'emploi de l'appareil :

- Soyez particulièrement vigilant quant à votre sécurité lors de l'utilisation de cet appareil dans certains lieux (les avions, les aéroports, les hôpitaux, les stationsservice et les garages professionnels).
- b. Évitez d'utiliser cet appareil à proximité de dispositifs médicaux implantés. Si vous portez un implant électronique (stimulateurs cardiaques, pompes à insuline, neurostimulateurs...), veuillez impérativement respecter une distance minimale de 15 centimètres entre cet appareil et l'implant pour réduire les risques d'interférence.
- c. Utilisez cet appareil dans de bonnes conditions de réception pour minimiser le niveau de rayonnement. Ce n'est pas toujours le cas dans certaines zones ou situations, notamment dans les parkings souterrains, dans les ascenseurs, en train ou en voiture ou tout simplement dans un secteur mal couvert par le réseau.
- d. Tenez cet appareil à distance du ventre des femmes enceintes et du bas-ventre des adolescents.

Declaration of compliance for product environmental regulation

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to http://csr.asus.com/Compliance.htm for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with:

EU REACH and Article 33

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at http://csr.asus.com/english/REACH.htm.

EU RoHS

This product complies with the EU RoHS Directive. For more details, see http://csr.asus.com/english/article.aspx?id=35

India RoHS

This product complies with the "India E-Waste (Management) Rules, 2016" and prohibits use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls (PBBs) and polybrominated diphenyl ethers (PBDEs) in concentrations exceeding 0.1% by weight in homogenous materials and 0.01% by weight in homogenous materials for cadmium, except for the exemptions listed in Schedule II of the Rule.

Vietnam RoHS

ASUS products sold in Vietnam, on or after September 23, 2011, meet the requirements of the Vietnam Circular 30/2011/TT-BCT.

Các sản phẩm ASUS bán tại Việt Nam, vào ngày 23 tháng 9 năm2011 trở về sau, đều phải đáp ứng các yêu cầu của Thông tư 30/2011/TT-BCT của Việt Nam.

Turkey RoHS

AEEE Yönetmeliğine Uygundur

ASUS Recycling/Takeback Services

ASUS recycling and takeback programs come from our commitment to the highest standards for protecting our environment. We believe in providing solutions for you to be able to responsibly recycle our products, batteries, other components as well as the packaging materials. Please go to http://csr.asus.com/english/Takeback.htm for detailed recycling information in different regions.



DO NOT throw the motherboard in municipal waste. This product has been designed to enable proper reuse of parts and recycling. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the product (electrical and electronic equipment) should not be placed in municipal waste. Check local regulations for disposal of electronic products.



DO NOT throw the mercury-containing button cell battery in municipal waste. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the battery should not be placed in municipal waste.

Regional notice for California



Cancer and Reproductive Harm - <u>www.P65Warnings.ca.gov</u>

Simplified EU Declaration of Conformity

ASUSTek Computer Inc. hereby declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. Full text of EU declaration of conformity is available at https://www.asus.com/support/

The WiFi operating in the band 5150-5350MHz shall be restricted to indoor use for countries listed in the table below:

Déclaration simplifiée de conformité de l'UE

ASUSTek Computer Inc. déclare par la présente que cet appareil est conforme aux critères essentiels et autres clauses pertinentes de la directive 2014/53/EU. La déclaration de conformité de l'UE peut être téléchargée à partir du site internet suivant : https://www.asus.com/support/ Dans la plage de fréquence 5150-5350 MHz, le Wi-Fi est restreint à une utilisation en intérieur dans les pays listés dans le tableau ci-dessous:

Vereinfachte EU-Konformitätserklärung

ASUSTek COMPUTER INC erklärt hiermit, dass dieses Gerät mit den grundlegenden Anforderungen und anderen relevanten Bestimmungen der Richtlinie 2014/53/EU übereinstimmt. Der gesamte Text der EU-Konformitätserklärung ist verfügbar unter: https://www.asus.com/support/ Der WLAN-Betrieb im Band von 5150-5350 MHz ist für die in der unteren Tabelle aufgeführten Länder auf den Innenbereich beschränkt:

Dichiarazione di conformità UE semplificata

ASUSTek Computer Inc. con la presente dichiara che questo dispositivo è conforme ai requisiti essenziali e alle altre disposizioni pertinenti con la direttiva 2014/53/EU. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile all'indirizzo: https://www.asus.com/support/

L'utilizzo della rete Wi-Fi con frequenza compresa nell'intervallo 5150-5350MHz deve essere limitato all'interno degli edifici per i paesi presenti nella seguente tabella:

Упрощенное заявление о соответствии европейской директиве

ASUSTek Computer Inc. заявляет, что устройство соответствует основным требованиям и другим соответствующим условиям директивы 2014/53/ EU. Полный текст декларации соответствия EC доступен на https://www.asus.com/support/

Работа WiFi в диапазоне частот 5150-5350 должна быть ограничена использованием в помещениях для стран, перечисленных в таблице ниже: إعلان التوافق المبسط الصادر عن الاتحاد الأوروبي

تقر شركة ASUSTek Computer أن هذا الجهاز يتوافق مع المتطلبات الأساسية والأحكام الأخرى ذات الصلة الخاصة بتوجيه 2014/53/EU. يتوفر النص الكامل لإعلان التوافق

الصادر عن الاتحاد الأوروبي على: https://www.asus.com/support/

يجب حصر استخدام WiFi العاملة بـ 5150-5350 ميجا هر تز على الاستخدام المنزلي للبلدان لمدرحة بالحدول

Опростена декларация за съответствие на ЕС С настоящото ASUSTek Computer Inc. декларира, че това устройство е

в съответствие със съществените изисквания и другите приложими постановления на свързаната Директива 2014/53/ЕС. Пълният текст на ЕС декларация за съвместимост е достъпен на адрес

https://www.asus.com/support/

WiFi, работеща в диапазон 5150-5350MHz, трябва да се ограничи до употреба на закрито за страните, посочени в таблицата по-лолу:

Declaração de Conformidade UE Simplificada

ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo está em conformidade com os requisitos essenciais e outras disposições relevantes relacionadas às diretivas 2014/53/UE. O texto completo da declaração de conformidade CE está disponível em https://www.asus.com/support/

O WiFi operando na banda 5150-5350MHz deve ser restrito para uso interno nara os naíses listados na tabela abaixo

Pojednostavljena EU Izjava o sukladnosti

ASUSTeK Computer Inc. ovim izjavljuje da je ovaj uređaj sukladan s bitnim zahtjevima i ostalim odgovarajućim odredbama direktive 2014/53/EU. Cijeli tekst EU izjave o sukladnosti dostupan je na https://www.asus.com/support/ WiFi koji radi na opsegu frekvencija 5150-5350 MHz bit će ograničen na

upotrebu u zatvorenom prostoru u zemljama na donjem popisu:

Zjednodušené prohlášení o shodě EU

Společnost ASUSTek Computer Inc. tímto prohlašuje, že toto zařízení splňuje základní požadavky a další příslušná ustanovení směrnice 2014/53/ EU. Plné znění prohlášení o shodě EU je k dispozici na adrese https://www.asus.com/support/

V zemích uvedených v tabulce je provoz sítě Wi-Fi ve frekvenčním rozsahu 5 150 - 5 350 MHz povolen pouze ve vnitřních prostorech:

Forenklet EU-overensstemmelseserklæring

ASUSTeK Computer Inc. erklærer hermed at denne enhed er i

overensstemmelse med hovedkravene og øvrige relevante bestemmelser i direktivet 2014/53/EU. Hele EU-overensstemmelseserklæringen kan findes på https://www.asus.com/support/

Wi-Fi, der bruger 5150-5350 MHz skal begrænses til indendørs brug i lande, der er anført i tabellen:

Vereenvoudigd EU-conformiteitsverklaring

ASUSTeK Computer Inc. verklaart hierbij dat dit apparaat voldoet aan de essentiële vereisten en andere relevante bepalingen van Richtlijn 2014/53/ EU. De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring is beschikbaar op https://www.asus.com/support/

De WiFi op 5150-5350MHz zal beperkt zijn tot binnengebruik voor in de tabel vermelde landen:

Lihtsustatud EÜ vastavusdeklaratsioon

Käesolevaga kinnitab ASUSTek Computer Inc, et seade vastab direktiivi 2014/53/EÜ olulistele nõuetele ja teistele asjakohastele sätetele. EL vastavusdeklaratsiooni täistekst on saadaval veebisaidil https://www.asus.com/support/

Sagedusvahemikus 5150-5350 MHz töötava WiFi kasutamine on järgmistes riikides lubatud ainult siseruumides:

Furoonna - FY:n vaatimustenmukaisuusvakuutus

ASUSTek Computer Inc. ilmoittaa täten, että tämä laite on direktiivin 2014/53/EU olennaisten vaatimusten ja muiden asiaankuuluvien lisäysten mukainen. Koko EY:n vaatimustenmukaisuusvakuutuksen teksti on luettavissa osoitteessa https://www.asus.com/support/

5 150 - 5 350 MHz:in taajuudella toimiva WiFi on rajoitettu sisäkäyttöön taulukossa luetelluissa maissa:

تبعیت از نسخه ساده شده بیانیه اتحادیه اروپا

ASUSTek Computer Inc در اینجا اعلام می کند که این دستگاه با نیاز های اساسی و سایر مقررات مربوط به بيانيه 2014/53/EU. مطابقت دارد. متن كامل پيروي أز أين بيانيه اتحاديه اروپا در این آدرس موجود است:

.https://www.asus.com/support/

عملکرد 5150-5350 مگاهرنز برای WiFi باید برای استفاده در فضای داخل ساختمان برای کشور های فهرست شده در جدول، محدود شود.

Απλοποιημένη Δήλωση Συμμόρφωσης ΕΕ

Διά του παρόντος η ASUSTek Computer Inc. δηλώνει ότι αυτή η συσκευή είναι σύμμορφη με τις βασικές προϋποθέσεις και άλλες σχετικές διατάξεις της Οδηγίας 2014/53/ΕΕ. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης της ΕΕ είναι διαθέσιμο στη διεύθυνση https://www.asus.com/support/

Το WiFi που λειτουργεί στη ζώνη 5150-5350MHz περιορίζεται για χρήση σε εσωτερικούς χώρους για τις χώρες που αναφέρονται στον παρακάτω πίνακα:

הצהרת תאימות רגולטורית מקוצרת עבור האיחוד אירופי

ASUSTek Computer Inc. מצהירה בזאת כי מכשיר זה תואם לדרישות החיוניות ולשאר הסעיפים הרלוונטיים של תקנה 2014/53/EU. ניתן לקרוא את הנוסח המלא של הצהרת התאימות הרגולטורית עבור האיחוד האירופי בכתובת: https://www.asus.com/support/

יש להגביל רשתות Wi-Fi הפועלות ברצועת התדרים Wi-Fi לשימוש בתוך מבנים סגורים בארצות המפורטות ברשימה הבאה:

Egyszerűsített EU megfelelőségi nyilatkozat

Az ASUSTek Computer Inc. ezennel kijelenti, hogy ez az eszköz megfelel az 2014/53/EU sz. irányelv alapvető követelményeinek és egyéb vonatkozó rendelkezéseinek. Az EU megfelelőségi nyilatkozat teljes szövegét a következő weboldalon tekintheti meg: https://www.asus.com/support/ Az 5150-5350 MHz-es sávban működő Wi-Fi-t beltéri használatra kell korlátozni az alábbi táblázatban felsorolt országokban:

Pernyataan Kesesuaian UE yang Disederhanakan

ASUSTeK Computer Inc. dengan ini menyatakan bahwa perangkat ini memenuhi persyaratan utama dan ketentuan relevan lainnya yang terdapat pada Petunjuk 2014/53/EU. Teks lengkap pernyataan kesesuaian EU tersedia di: https://www.asus.com/support/

WiFi yang Beroperasi pada 5150-5350 MHz akan terbatas untuk penggunaan dalam ruangan di negara yang tercantum dalam tabel

Vienkāršota ES atbilstības pazinojums

ASUSTeK Computer Inc. ar šo paziņo, ka šī ierīce atbilst Direktīvas 2014/53/ES būtiskajām prasībām un citiem citiem saistošajiem nosacijumiem. Pilns ES atbilstības paziņojuma teksts pieejams šeit: https://www.asus.com/support/

Wi-Fi darbība 5150–5350 MHz ir jājerobežo lietošanai telpās valstīs, kuras norādītas tālāk

Supaprastinta ES atitikties deklaracija

Šiame dokumente bendrovė "ASUSTek Computer Inc." pareiškia, kad šis prietaisas atitinka pagrindinius reikalavimus ir kitas susijusias Direktyvos 2014/53/ES nuostatas. Visas ES atitikties deklaracijos tekstas pateikiamas čia: https://www.asus.com/support/

Toliau nurodytose šalyse "WiFi" ryšiu, veikiančiu 5 150-5 350 MHz dažnic juostoje, galima naudotis tik patalpose:

Forenklet EU-samsvarserklæring

ASUSTek Computer Inc. erklærer herved at denne enheten er i samsvar med hovedsaklige krav og andre relevante forskrifter i direktivet 2014/53/EU. Fullstendig tekst for EU-samsvarserklæringen finnes på:

https://www.asus.com/support/

Wi-Fi-området 5150–5350 MHz skal begrenses til innendørs bruk for landene som er oppført i tabellen:

Uproszczona deklaracja zgodności UE

Firma ASUSTek Computer Inc. niniejszym oświadcza, że urządzenie to jest zgodne z zasadniczymi wymogami i innymi właściwymi postanowieniami dyrektywy 2014/53/EU. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod adresem https://www.asus.com/support/

W krajach wymienionych w tabeli działanie sieci Wi-Fi w paśmie 5150-5350 MHz powinno być ograniczone wyłącznie do pomieszczeń:

Declaração de Conformidade Simplificada da UE

A ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo está em conformidade com os requisitos essenciais e outras disposições relevantes da Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade da UE está disponível em https://www.asus.com/support/

A utilização das freguências WiFi de 5150 a 5350MHz está restrita a ambientes interiores nos países apresentados na tabela

Declarație de conformitate UE, versiune simplificată

Prin prezenta, ASUSTek Computer Inc. declară că acest dispozitiv este în conformitate cu reglementările esentiale și cu celelalte prevederi relevante ale Directivei 2014/53/UE. Textul complet al declarației de conformitate UE este disponibil la adresa https://www.asus.com/support/

Pentru tările listate în tabelul de mai jos, retelele WiFi care funcționează în banda de frecventă de 5.150-5.350 MHz trebuie utilizate doar în interior:

Pojednostavljena Deklaracija o usaglašenosti EU

ASUSTek Computer Inc. ovim izjavljuje da je ovaj uređaj usaglašen sa osnovnim zahtevima i drugim relevantnim odredbama Direktive 2014/53/ EU. Ceo tekst Deklaracije o usaglašenosti EU dostupan je na lokaciji https://www.asus.com/support/

WiFi koji radi u frekventnom opsegu od 5150 MHz do 5350 MHz ograničen je isključivo na upotrebu u zatvorenom prostoru za zemlje navedene u tabeli ispod:

Zjednodušené vyhlásenie o zhode platné pre EÚ

Spoločnosť ASUSTek Computer Inc. týmto vyhlasuje, že toto zariadenie je v súlade so základnými požiadavkami a ďalšími príslušnými ustanoveniami smernice č. 2014/53/EÚ. Plné znenie vyhlásenia o zhode pre EÚ je k dispozícii na lokalite https://www.asus.com/support/

Činnosť WiFi v pásme 5150 - 5350 MHz bude obmedzená na použitie vo vnútornom prostredí pre krajiny uvedené v tabuľke nižšie:

Poenostavljena izjava EU o skladnosti

ASUSTek Computer Inc. tukaj izjavlja, da je ta naprava skladna s temeljnimi zahtevami in drugimi relevantnimii določili Direktive 2014/53/EU. Polno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na

https://www.asus.com/support/

WiFi, ki deluje v pasovnem območju 5150-5350 MHz, mora biti v državah, navedenih v spodniem seznamu, omeien na notranio uporabo:

Declaración de conformidad simplificada para la UE

Por la presente, ASUSTek Computer Inc. declara que este dispositivo cumple los requisitos básicos y otras disposiciones pertinentes de la directiva 2014/53/EU. En https://www.asus.com/support/ está disponible el texto completo de la declaración de conformidad para la UE.

La conexión WiFi con una frecuencia de funcionamiento de 5150-5350 MHz se restringirá al uso en interiores para los países enumerados en la tabla: Förenklad EU-försäkran om överensstämmelse

ASUSTek Computer Inc. deklarerar härmed att denna enhet överensstämmer med de grundläggande kraven och andra relevanta bestämmelser i direktiv 2014/53/EU. Fullständig text av EU-försäkran om överensstämmelse finns på https://www.asus.com/support/

WiFi som använder 5150-5350 MHz kommer att begränsas för användning inomhus i de länder som anges i tabellen:

ประกาศเกียวกับความสอดคล้องของสหภาพยโรปแบบย่อ ASUSTek Computer Inc.

ขอประกาศในที่นี่ว่าอุปกรณ์นี่มีความสอดคล้องกับความ ด้องการที่จำเป็นและเงื่อนไขทีเกี่ยวข้องอื่น ๆ ของบทบัญญัติข้อกำหนด 2014/53/EU เนื้อหาที่สมบูรณ์ของประกาศความสอดคล้องกับ EU มีอยู่ที https://www.asus.com/support/

การทำงานของ WiFi ที่ 5150-5350MHz

ถูกจำกัดให้ใช้ในอาคารสำหรับประเทศทีแสดงในตาราง

Basitleştirilmiş AB Uyumluluk Bildirimi

ASUSTek Computer Inc., bu aygıtın 2014/53/EU Yönergesinin temel gereksinimlerine ve diğer ilgili hükümlerine uygun olduğunu bildirir. AB uygunluk bildiriminin tam metni şu adreste bulunabilir: https://www.asus.com/support/

5150-5350 MHz arasındaki WiFi çalışması, tabloda listelenen ülkeler için ic mekân kullanımıvla kısıtlanacaktır.

Спрощена декларація про відповідність нормам ЄС

ASUSTek Computer Inc. заявляє, що цей пристрій відповідає основним вимогам та іншим відповідним вимогам Директиви 2014 / 53 / EU. Повний текст декларації відповідності нормам ЄС доступний на https://www.asus.com/support/

Робота Wi-Fi на частоті 5150-5350 МГц обмежується використанням у приміщенні для країн, поданих у таблиці нижче

簡易EU適合宣言書

本製品は、指令 2014/53/EU (無線機器指令) に適合しています。適合宣言 の全文については、https://www.asus.com/support/をご覧ください。 本製品、5150~5350 MHzの周波数帯の場合は屋内のみでの使用に制限 されます。対象となる国または地域は、以下の表をご覧ください。



AT	BE	BG	CZ	DK	EE	FR
DE	IS	IE	IT	EL	ES	CY
LV	LI	LT	LU	HU	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SI	SK	TR
FI	SE	СН	UK	HR		

INTEL® WI-FI 6 AX201 output power table:

Function	Frequency	Maximum Output Power (EIRP)
	2412 - 2472 MHz	18.62 dBm
14/17:	5150 - 5350 MHz	19.15 dBm
VVIFI	5470 - 5725 MHz	18.92 dBm
	5725 - 5850 MHz	9.25 dBm
Bluetooth	2402 - 2480 MHz	10.51 dBm

For the standard EN 300 440, if this device operates in 5725-5875 MHz, it will be considered as a receiver category 2.



ASUSコンタクトインフォメーション

ASUSTeK COMPUTER INC.

住所: 電話(代表): ファックス(代表): Webサイト: 1F., No. 15, Lide Rd., Beitou Dist., Taipei City 112, Taiwan +886-2-2894-3447 +886-2-2890-7798 https://www.asus.com

テクニカルサポート

電話: +86-21-38429911 オンラインサポート: <u>https://qr.asus.com/techserv</u>

お問い合わせ

本製品の日本におけるサポートは販売代理店が提供しております。製品ご購入後のお問い合わ せについては、製品の外箱に貼付された「製品保証シール」をご確認の上、販売代理店のお問い 合わせ窓口へお問い合わせください。

お電話でテクニカルサポートにお問い合わせをいただく際、ご不明な点や問題を迅速に解決す るため【製品名】【シリアル番号】のご用意をお願いいたします。

ASUSが提供するサービスについてのお問い合わせは、ASUSオフィシャルページのサポートページからお問い合わせください。 http://www.asus.com/jp/support/

付 録